

# LAN Wi-Fi設定を行う

本機は、パソコンやスマートフォン、ゲーム機などと無線LAN接続できます。この無線LAN接続を「LAN Wi-Fi」と呼びます。LAN Wi-Fiで本機と接続した無線LAN端末は、本機のインターネットWi-Fi機能を使って、インターネットにアクセスできます。

## LAN Wi-Fiの基本設定を行う (SSID A)

SSID Aについて無線LANの基本的な設定を行います。  
ここで設定する項目は次の通りです。

項目	説明
端末にSSIDとセキュリティキーを表示	チェックをすると、本体のタッチメニューの「SSID」をタップしたときに、SSIDとセキュリティキーを表示します。
SSID	SSID (ネットワーク名) を設定します。
認証方式	認証方式を設定します。
暗号化方式	暗号化方式を設定します。
WPAセキュリティキー	「認証方式」で「WPA-PSK」「WPA2-PSK」「WPA/WPA2-PSK」のいずれかを選択しているときに表示されます。セキュリティキーを入力します。
WEPキー1~4	「認証方式」で「自動」「Open」「Shared key」のいずれかを選択し、「暗号化方式」が「WEP」のときに表示されます。WEPキーを入力します。
デフォルトキー	既定値のWEPキーを設定します。
プライバシーセパレーター	SSID Aに接続している無線LAN端末間の相互通信を禁止するかどうかを設定します。
SSIDステルス	本機のSSIDを通知しないようにするかどうかを設定します。

・SSIDやセキュリティキーなどで有効な設定値の範囲などは「WEB UIの設定項目と設定内容 (設定範囲/初期値)」を参照してください。

1

メニューリストで LAN Wi-Fi → 基本設定



各項目を設定 → 適用

ホーム | 設定 | データ通信量 | お知らせ | ソフトウェア更新

かんたん設定  
モバイルネットワーク設定  
インターネットWi-Fi  
LAN Wi-Fi  
基本設定  
詳細設定  
MACアドレスフィルタリング  
DHCP  
ルーター設定  
システム

### 基本設定

暗号化方式がWEPまたはTKIPに設定されている場合、802.11nのみのモードで動作している無線LAN端末は接続できない場合があります。

暗号化方式がWEPまたはTKIPに設定されている場合、802.11nモードで動作している無線LAN端末は本端末にアクセスできない可能性があります。

無線LAN接続に関する設定を変更すると、無線LANの接続が切れることがあります。再接続するには無線LANの端末の設定変更が必要になります。

端末にSSIDとセキュリティキーを表示

**SSID A**

SSID:

認証方式:

暗号化方式:

WPAセキュリティキー:

プライバシーフィルター:

SSIDステルス:  オン  オフ

**SSID B**

オン  オフ SSID BからはWEB UIに接続できません。

セキュリティキーを表示

 SSID AのLAN Wi-Fi基本設定が設定されます。

## マルチSSID機能をオンにする (SSID B)

SSID Bについて無線LANの基本的な設定を行います。

- ・SSID Bを利用するには、インターネットWi-Fi機能をオフにする必要があります。インターネット接続はモバイルネットワークをご利用ください。
- ・SSID BはWPA/WPA2の暗号化方式には対応していません。

ここで設定する項目は次の通りです。

項目	説明
SSID	SSID (ネットワーク名) を設定します。
認証方式	認証方式を設定します。
暗号化方式	暗号化方式を設定します。
WEPキー1~4	「認証方式」で「自動」「Open」「Shared key」のいずれかを選択し、「暗号化方式」が「WEP」のときに表示されます。WEPキーを入力します。
デフォルトキー	既定値のWEPキーを設定します。
プライバシーセパレーター	SSID Bに接続している無線LAN端末間の相互通信を禁止するかどうかを設定します。
SSIDステルス	本機のSSIDを通知しないようにするかどうかを設定します。

- ・SSIDやセキュリティキーなどで有効な設定値の範囲などは「WEB UIの設定項目と設定内容 (設定範囲/初期値)」を参照してください。

1

メニューリストで LAN Wi-Fi → 基本設定



「SSID B」を **オン**

ホーム | **設定** | データ通信量 | お知らせ | ソフトウェア更新

かんたん設定  
モバイルネットワーク設定  
インターネットWi-Fi  
LAN Wi-Fi  
**基本設定**  
詳細設定  
MACアドレスフィルタリング  
DHCP  
ルーター設定  
システム

### 基本設定

暗号化方式がWEPまたはTKIPに設定されている場合、802.11nのみのモードで動作している無線LAN端末は接続できない場合があります。

暗号化方式がWEPまたはTKIPに設定されている場合、802.11nモードで動作している無線LAN端末は本端末にアクセスできない可能性があります。

無線LAN接続に関する設定を変更すると、無線LANの接続が切れることがあります。再接続するには無線LAN端末の設定変更が必要になります。

端末にSSIDとセキュリティキーを表示

#### SSID A

SSID: 301HWX-XXXXXX  
 認証方式: WPAWPA2-PSK  
 暗号化方式: AES+TKIP  
 WPAセキュリティキー: ●●●●●●  
 プライバシーセレクター: オフ  
 SSIDステルス:  オン  オフ

#### SSID B

オン  オフ SSID BからはWEB UIに接続できません。

SSID: 301HWX-XXXXXX-2  
 認証方式: Open  
 暗号化方式: WEP  
 WEPキー1: ●●●●  
 WEPキー2: ●●●●  
 WEPキー3: ●●●●  
 WEPキー4: ●●●●  
 デフォルトキー: WEPキー1  
 プライバシーセレクター: オフ  
 SSIDステルス:  オン  オフ

セキュリティキーを表示

適用

インターネットWi-Fi機能がオンの状態で「SSID B」の **オン** をクリックすると、お知らせ画面が表示されます。**はい** をタップすると、インターネットWi-Fi機能が自動的にオフになります。

ホーム | 設定 | データ通信量 | お知らせ | ソフトウェア更新

かんたん設定  
モバイルネットワーク設定  
インターネットWi-Fi  
LAN Wi-Fi  
基本設定  
詳細設定  
MACアドレスフィルタリング  
DHCP  
ルーター設定  
システム

## 基本設定

暗号化方式がWEPまたはTKIPに設定されている場合、802.11nのみのモードで動作している無線LAN端末は接続できない場合があります。

暗号化方式がWEPまたはTKIPに設定されている場合、802.11nモードで動作している無線LAN端末は本端末にアクセスできない可能性があります。

無線LAN接続に関する設定を変更すると、無線LANの接続が切れることがあります。再接続するには無線LAN端末の設定変更が必要になります。

端末にSSIDとセキュリティキーを表示

### SSID A

SSID: 301HWX-XXXXXX  
 認証方式: WPA/WPA2-PSK  
 暗号化方式: AES+TKIP  
 WPAセキュリティキー: ●●●●●●  
 プライバシーセレクター: オフ  
 SSIDステルス:  オン  オフ

### SSID B

オン  オフ SSID BからはWEB UIに接続できません。

SSID: 301HWX-XXXXXX-2  
 認証方式: Open  
 暗号化方式: WEP  
 WEPキー1: ●●●●  
 WEPキー2: ●●●●  
 WEPキー3: ●●●●  
 WEPキー4: ●●●●  
 デフォルトキー: WEPキー1  
 プライバシーセレクター: オフ  
 SSIDステルス:  オン  オフ

セキュリティキーを表示

**適用**

SSID BのLAN Wi-Fi基本設定が設定されます。

## LAN Wi-Fiの詳細設定を行う

ここで設定できる項目は次の通りです。

項目	説明
国	無線LANを使用する国名を設定します。
チャンネル	無線LANのチャンネルを設定します。インターネットWi-Fi機能がオンのときは自動のみ選択できません。
通信規格	無線LANの通信規格を設定します。
SSID間通信	SSID AとSSID Bそれぞれに接続されている機器間での通信を許可するかどうかを設定します。この設定項目は、マルチSSID機能 (SSID B) をオンにしているときにのみ表示されます。
スリープ設定	本機に無線LAN端末が接続されていない状態のとき、無線LAN機能を自動的にオフにするかどうかを設定します (充電時を除く)。
無線LAN機能をオフにするまでの時間 (分)	スリープ設定が「オン」のときに、無線LAN機能を自動的にオフにするまでの時間を設定します。
圏外時Wi-Fi自動切断	本機がネットワークの圏外になったとき、無線LAN端末との通信を自動的に切断するかどうかを設定します。
周波数幅	無線LANチャンネルの周波数帯域幅を設定します。 20MHzの帯域で通信するか、20MHzまたは40MHzの帯域で通信するかを選択します。

・設定値の範囲などは「WEB UIの設定項目と設定内容 (設定範囲 / 初期値)」を参照してください。

1

メニューリストで [LAN Wi-Fi](#) → [詳細設定](#)



各項目を設定 → 適用

ホーム | 設定 | データ通信量 | お知らせ | ソフトウェア更新

かんたん設定  
モバイルネットワーク設定  
インターネットWi-Fi  
LAN Wi-Fi  
基本設定  
→ 詳細設定  
MACアドレスフィルタリング  
DHCP  
ルーター設定  
システム

### 詳細設定

海外でWi-Fiをご利用される場合はその国の法律に基づいた設定変更が必要となります。

無線LAN接続に関する設定を変更すると、無線LANの接続が切れることがあります。再接続するには無線LAN端末の設定変更が必要になります。

国: 日本

チャンネル: 自動 (1-11) インターネットWi-Fi有効時は、チャンネル設定は自動のみとなります。

通信規格: 802.11g/n Wi-Fiの通信規格を設定します。IEEE802.11bのみ対応の無線LAN端末を接続する場合は、b/g/nに設定してください。b/g/nに設定すると、インターネットWi-Fiで5GHzのアクセスポイントが利用できなくなります。

SSID間通信: オン SSID AとSSID Bそれぞれに接続されている機器間での通信の有効無効を設定します。

スリープ設定: オン (充電時を除く)

無線LAN機能をオフにするまでの時間(分): 1

圏外時Wi-Fi自動切断: オフ

周波数帯幅: 20MHz

適用

LAN Wi-Fi詳細設定が設定されます。

## MACアドレスフィルタリングを設定する

無線LAN端末のMACアドレスを登録して無線LAN接続の許可/禁止を設定し、セキュリティ機能を強化できます。

- ・マルチSSID機能 (SSID B) をオンにしている場合は、SSID BでもMACアドレスフィルタリングの設定ができます。

1

メニューリストで **LAN Wi-Fi** → **MACアドレスフィルタリング**



2

「MACアドレスフィルタリング」で **許可** / **拒否** → **MACアドレスを入力** → **適用**



- ・入力したMACアドレスを削除、編集した場合も同様に **適用** をクリックしてください。



(はい)



🚩 MACアドレスフィルタリングが設定されます。

## MACアドレスフィルタリングを解除する

登録したMACアドレスが消去され、MACアドレスフィルタリングが解除されます。

1

メニューリストで **LAN Wi-Fi** → **MACアドレスフィルタリング**

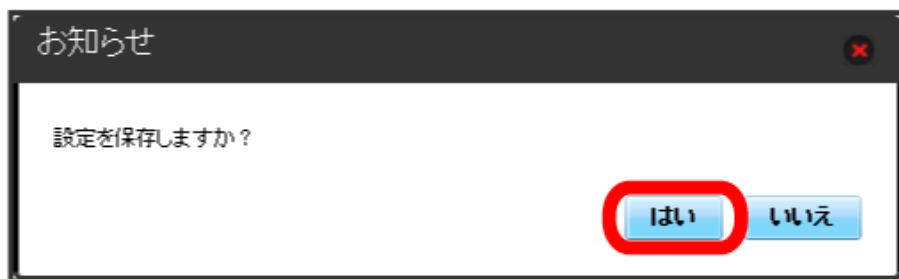


2

「MACアドレスフィルタリング」で **オフ** → **適用**



(はい)



🚩 MACアドレスフィルタリングが解除されます。

## DHCPを設定する

LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。

ここで設定できる項目は次の通りです。

項目	説明
IPアドレス	本機のプライベートIPアドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
DHCPサーバー	DHCP機能を利用するかどうかを設定します。
開始IPアドレス	無線LAN端末に割り当てる最小のIPアドレスを設定します。
終了IPアドレス	無線LAN端末に割り当てる最大のIPアドレスを設定します。
DHCPリース時間 (秒)	IPアドレスのリース時間を設定します。

・設定値の範囲などは「WEB UIの設定項目と設定内容（設定範囲／初期値）」を参照してください。

1

メニューリストで LAN Wi-Fi → DHCP

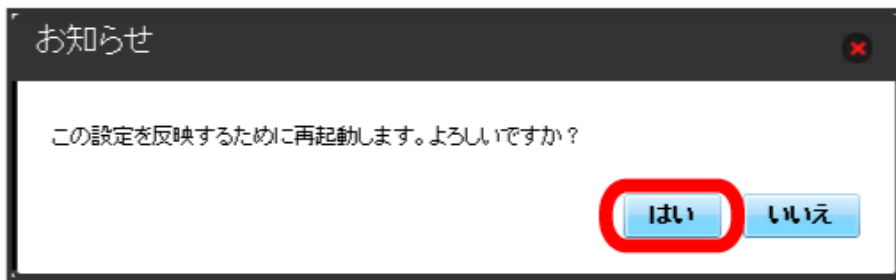



2

各項目を設定 → 適用



(はい)



 本機が再起動されると、DHCPが設定されます。

### LAN Wi-Fi設定変更時のご注意

無線LANで接続した端末から、WEB UIでLAN Wi-Fiの設定を変更すると、無線LANの接続が切れることがありますので、ご注意ください。